

平成29年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

ウリソツクラブ ～ウーリークラブ卒業ファミリーの会～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

ウーリークラブに参加した家族が、継続して「子育て」の情報交換を行ったり、体験活動を通じて交流し、自然への関心を高めたりする中で、主体的に企画・運営する意識を高める。

2. 事業の概要

- (1) 期日
- | | | |
|-----|------------------|------------|
| 第1回 | 6月17日（土）～18日（日） | 1泊2日 |
| 第2回 | 9月2日（土）～3日（日） | 1泊2日 |
| 第3回 | 10月14日（土）～15日（日） | 1泊2日（自主企画） |
| 第4回 | 2月10日（土）～11日（日） | 1泊2日（自主企画） |

(2) 参加者

① 募集対象・人数

平成25年度・26年度・27年度・28年度のウーリークラブ参加家族
44家族

② 登録人数 93人（25家族）

各回参加人数

- | | |
|-----|-----------|
| 第1回 | 47人（13家族） |
| 第2回 | 42人（12家族） |
| 第3回 | 42人（13家族） |
| 第4回 | 33人（10家族） |

(3) 講師等

第1回 天体観察 早原 功記 氏

(4) 企画・運営のポイント

- ① 「ウリソツフィールド」の整備と活用に向けて計画的に取り組めるように、第1回の参加保護者による話し合いを行い、そこで相談された計画を元に、今年度の確認を行った。
- ② ウリソツクラブの家族が、自然と触れ合う様々な活動を通して、家族間や大人・子供同士がそれぞれ関わり合いを深め、改めて吉備の自然の素晴らしさを感じることができるプログラム作りを意識した。
- ③ ウリソツクラブの参加者からなる自主企画委員が、自主的に企画・運営できるように、4回実施の2回を自主企画として設定した。自分達で話し合った「ねらい」をもとに、吉備職員のサポートを受けながら、自分達で企画・運営する意識を

高める。

3. 活動の内容等

(1) 日程

第1回 6月17日(土)～18日(日)			
10:30	受付・おひさしぶりの会	6:30	起床・洗面・掃除
11:00	アイスブレイク オリエンテーション	7:15	朝のつどい
12:00	昼食	7:30	朝食
13:30	親子オリエンテーリング	9:30	ウリソツフィールド草取り
16:45	休憩	10:00	(大人) ウリソツフィールド会議 (子供) いかだ遊び
17:15	夕べのつどい	12:00	閉会式
17:30	夕食		
19:00	入浴		
20:00	天体観察		
21:00	情報交換会・就寝		

第2回 9月2日(土)～3日(日)			
13:30	受付・お久しぶりの会	6:30	起床・洗面・掃除
14:00	オリエンテーション・入室	7:15	朝のつどい
15:00	野外調理(ポークカレー)	7:30	朝食
19:00	移動	9:30	(大人) ウリソツフィールド整備 (子供) 魚釣り
19:30	入浴		
20:30	情報交換会・就寝	12:00	昼食
		13:00	閉会式
		13:30	自主企画会議(自主企画委員のみ)

第3回 10月14日(土)～15日(日) 自主企画①			
13:00	受付	7:00	起床・洗面・掃除
13:30	おひさしぶりの会	7:45	朝のつどい
14:00	(子供) 段ボール基地作り (大人 父) ウリソツフィールド 整備 (大人 母) 看板作り	8:00	朝食
		10:00	野外調理(サンドイッチ)
		13:00	閉会式
		13:30	自主企画会議(自主企画委員のみ)
17:15	夕べのつどい		
17:30	夕食		
19:00	入浴		
20:30	情報交換会・就寝		

第4回 2月10日(土)～11日(日) 自主企画②			
13:30	受付・おひさしぶりの会 ウーリークラブと交流会①	7:00	起床・洗面・掃除
		7:45	朝のつどい
14:30	食材オリエンテーリング	8:00	朝食
16:00	ウーリークラブと交流会②	9:30	部屋の点検
17:15	夕べのつどい	10:00	もちつきと豚汁作り
17:30	夕食	14:00	閉会式
19:00	入浴		
20:00	情報交換会・就寝		

(2) 活動の状況



【ウリソツフィールド整備】



【ウリソツフィールド会議】



【魚釣り】



【ウーリーウリソツ交流会】



【もちつき】



【情報交換会 プレゼン】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：95% やや満足5%

(2) 参加者の声

- ① とても楽しく過ごせました。色々な事前準備があつて、この会が素晴らしいものになったのだと思いました。また次回に参加したいです。
- ② 子供たちがとても楽しそうでよかったです。家では、手伝いをしながらなのに、ここでは、しようとしていたので驚いています。

- ③ 子供が小さいので、あまり全力でお手伝いできませんが、他の保護者の方々が、嫌な顔ひとつせず、いろいろやってくれるので、毎回とてもあたたかい気持ちになります。
- ④ 一部の方々に過度な負担がかからないように、継続することが一番と思います。ウーリーとウリソツで顔合わせの機会は、次に向けて良いきっかけになると思います。

(3) 成果

- ① 「ウリソツフィールド会議」として、今年度どのような自然体験活動を通して子供たちを育てていくのか、またウリソツクラブの親睦をどのように深めていくのかについて、第1回開催時に参加保護者で話し合うことができた。
また、その計画を周知できるウリソツネットワークを保護者が構築しつつある。
- ② 「子供たちをウリソツみんなで育てるという雰囲気がある。」という保護者からの感想があるように、ウリソツクラブの中で、子供たちが生き生きと成長し、それと同時に保護者自身も子育てを学び、成長している姿がある。
- ③ ウーリークラブと合同の回では、ウリソツクラブの子供たちが、吉備の自然や仲間たちを通してどのように成長してきたのかをプレゼンで伝えたり、自分達の思いをメッセージで伝えたりするなど、自主企画メンバーを中心として、ウリソツクラブの良さをウーリークラブに伝えることができた。次年度の参加者と自主運営につながる基盤ができつつある。

(4) 今後の課題

- ① ウリソツフィールドの管理について、日常的な除草作業等はスタッフが行っている。今後の自主運営につなげるためにも、参加者を巻き込む方策が必要である。
- ② 将来的な自主運営や継続につなげるため、企画の進め方や当日の運営など、自主企画メンバーに負担がかかり過ぎないように、支援していくことが大切である。

担当：企画指導専門職 徳永 正樹